

	琉球大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	工学部（第1年次:320 第3年次:20） 工学部【夜間】（第1年次:30） 大学院理工学研究科（M:145 D:12）
沿 革	昭和25（1950）年 琉球大学開学 昭和33（1958）年 農家政工学部設置 昭和42（1967）年 理工学部設置 昭和47（1972）年 国立大学移管 昭和54（1979）年 工学部設置 昭和60（1985）年 大学院工学研究科修士課程設置 平成9（1997）年 大学院工学研究科博士前期課程・後期課程設置 平成10（1998）年 大学院理工学研究科博士前期課程・後期課程設置
設置目的等	<p>昭和25年、琉球の人々に対し、一般的及び専門的知識並びに教育を普及し、その経済、文化の発展を促進し、且つ、民主主義諸国民を理解し、その慣習を学び、その自由即ち言論、集会、請願、信教及び出版の自由を得ることに助長せしめるのを目的に、琉球大学が設置された。</p> <p>昭和33年、沖縄県における技術産業教育と技術者を養成することを目的に、農家政学部を改組して、農家政工学部が設置された。</p> <p>昭和42年、琉球大学設置法の一部改正に伴う全学的な学部再編により、理工学部が設置された。</p> <p>昭和47年、沖縄の本土復帰により、琉球大学は国に移管され国立大学となった。</p> <p>昭和54年、今日の工業・技術社会の要請に応じて幅広い教養と技術者倫理及び高度な専門知識を有し、社会、地域環境保全や平和に貢献しうる豊かな創造力と実践力を備えた人材を養成することを目的に、理工学部を改組して、工学部が設置された。</p> <p>昭和60年、広い視野に立って精深な学識を授け、工学的基礎科学及びその応用分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養うことを目的に、工学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成9年、工学の分野における広い視野と豊かな創造性、国際感覚を兼ね備えた技術者・研究者を育成し、低緯度亜熱帯、海洋、島嶼環</p>

	<p>境をテーマとし、地域特性を生かした研究の発展に寄与することを目的に、工学研究科修士課程を改組し、工学研究科博士前期課程・後期課程が設置された。</p> <p>平成10年、熱帯・亜熱帯特性を生かした新しい学問の発展、国際交流の推進、地球環境の保全、熱帯・亜熱帯資源の持続的有効利用、地域の要請に対する応答を重要課題として掲げ、人類と自然の永久共存をメインテーマとして教育研究を推進することを目的に、工学研究科と理学研究科を改組し、理工学研究科博士前期課程・後期課程が設置された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>琉球大学においては、沖縄県への地域貢献と国際社会への貢献の理念のもと、IT関連産業技術支援及び地域密着型ものづくりを通して沖縄振興計画「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の産業振興の基盤となり、沖縄経済の自立的発展に寄与し、沖縄振興に貢献することを目指しており、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沖縄県をはじめとする周辺地域の工学教育の機会均等に寄与し、機械工学、システム工学、電気工学、電子工学、土木工学、建築学、情報工学などの技術者等の育成の役割を果たす。博士前期課程では、科学技術の発展に寄与するとともに、高度な専門知識と技術を兼ね備え社会に貢献できる人材育成の役割を果たす。博士後期課程では、学際的・融合的な分野に関する教育研究を通して、高度な専門知識と技術力を兼ね備えた創造性豊かな技術者・研究者の人材育成の役割を果たす。</li> <li>○ 東アジアの中心地点に位置する国立の総合大学として、アジア・太平洋地域に対する国際貢献に寄与する。世界各国に門戸を開き、特にアジア諸国から多くの学生を受入れる。教育研究活動において交流実績のある海外の大学と積極的に交流協定を結ぶとともに、独立行政法人国際協力機構沖縄国際センター等と連携し、実質的交流を推進する。</li> <li>○ 高等専門学校や民間企業との連携による、エンジニアリングデザイン教育の取り組みなど特色ある教育や、国際的通用性のある認定プログラムを積極的に進めてきた実績を生かし、今後とも国際水準の教育の質を維持し、総合大学の強みを発揮して豊かな学士力を養成する。さらに、学士課程高学年次と大学院博士前期課程に重きを置いた高度な専門教育を推進し、国際色豊かな工学系学部・大学院を目指して不断の改善・充実を図る。</li> </ul>

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 工学の基盤となる研究を推進するとともに、システム工学をはじめとする工学の諸分野、特に「亜熱帯性」「島嶼性」「海洋性」という沖縄県の地域特性を有効に生かした、エネルギー工学、腐食防食工学、環境工学、島嶼防災工学、材料工学、エコ対応薄膜技術、加工技術、情報通信工学などに関する研究を推進する。</li><li>○ 産官学連携研究を積極的に行い、大学のシーズに基づく特許取得を目指す。沖縄県をはじめとする行政機関との連携を密にするとともに、県内の理工系高等教育機関の中核的役割を果たして、沖縄県におけるイノベーションを推進する。また、沖縄県及び全国の工業界へ有能な人材を輩出し、産業界や社会に貢献する。</li><li>○ 先進・実践結合型 IT 産業人材養成の産学連携型研修などの実績を生かし、また、社会人特別選抜や県内高等学校教諭に対する授業料免除等を活用して地域の社会人教育の高度化を推進する。</li></ul> |
|--|---|